

教育と文化

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 245

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

インターネットによる人権侵害を考える

昨年、インターネットのフリーマーケットアプリ『メルカリ』で、全国の被差別部落の所在地などが記載された書籍『全国部落調査復刻版』が販売され、社会問題になりました。

『全国部落調査』とは、戦前の内務省の外郭団体が作成した調査報告書のことです。1970年代には、これを悪用して作成された差別図書『部落地名総鑑』を購入した企業などの身元調査によって、就職差別や結婚差別が続発し、多くの人の夢や人生が奪われたのです。このように、被差別部落の公開は深刻な人権侵害につながります。

今回の事件は、佐賀県内の未成年者がインターネットを検索中に、現在の情報に加工したうえで悪意を持って公表された『全国部落調査復刻版』のデータを偶然入手し、製本したものを安易にフリーマ

ケットに出品したもので、同和問題に関する認識不足が招いたものと言えます。

この事件の背景には、インターネット上にあふれる差別的な情報があります。被差別部落に対する根拠のない噂や誹謗中傷が書き込まれたサイト、差別を助長するような動画が多く存在しています。今回の出品者も、学校で学んだことを検索しているうちに、差別的なサイトに行きついているのです。

この事件は、学校で進められている同和教育が、インターネットによって悪い方向へと導かれる危険性があることを教えてくれます。家庭や地域で子どもを取り巻く私たち大人が、誤った情報に惑わされないように正しく判断できる人権感覚を身に付けることが子どもをインターネットの危険から守るための第一歩になるのです。

郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑩

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 093-3186

水無城跡

水無城跡は大川内町甲字城ノ下および小石原に所在する中世の山城跡で、青螺山の東「カミサシ山」上に位置し、東には杏子川が流れています。

城跡は最高所に主郭を配置しており、すぐ下の北西斜面には2本の竖堀が設けられています。主郭の東隣的一段下には「武者溜まり(兵士の集合場所)」と考えられる曲輪があり、そこから東に向かって腰曲輪が5つ連続で連なつて段を作っています。その最下段には尾根筋をそのまま利用した幅が狭くて長い曲輪が接続しています。

水無城について詳細が分かる資料は確認されていませんが、戦国期武雄の後藤氏領の北限にあたること、水無城の遺構の特徴が戦国



↑水無城 (赤：道 緑：水無城跡)

期後半頃に整備を行つたと考えられることから、後藤氏が関与した可能性があります。

この城跡へは尾根の北側から登る道が存在します。登る際は勾配が急で滑りやすいため、注意が必要です。